

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 大

上場会社名 東映アニメーション株式会社

コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 浩

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営戦略本部副本部長 (氏名) 大山 秀徳

TEL 03-5261-7612

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	26,108	29.6	4,129	21.3	4,456	22.7	2,655	22.8
23年3月期第3四半期	20,148	35.8	3,404	133.9	3,632	121.1	2,163	124.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,495百万円 (34.9%) 23年3月期第3四半期 1,849百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	191.21	—
23年3月期第3四半期	155.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	39,218	32,251	82.2
23年3月期	37,274	30,451	81.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 32,251百万円 23年3月期 30,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成23年3月期期末配当金の内訳 特別配当30円を含んでおります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	16.4	4,700	12.3	5,000	9.4	2,900	6.5	208.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	14,000,000 株	23年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	109,974 株	23年3月期	109,974 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	13,890,026 株	23年3月期3Q	13,897,446 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種の政策効果等を背景に、緩やかな持ち直し傾向が見られましたが、3月に発生した東日本大震災の影響による電力供給の制約や原子力災害に加え、欧州債務危機の影響や円高・株価の低迷等による景気の下振れリスクが懸念される等、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境におきましても、依然として少子化やテレビ用アニメーションの低視聴率傾向、娯楽の多様化等により厳しい状況が続いているものの、携帯端末・パソコン・テレビ・ゲーム機等への映像配信サービスやブルーレイ、SNS等の新たなメディアの拡大の他、新興国での更なる浸透が期待できる海外市場や、政府によるコンテンツ支援策が図られる等、アニメーションビジネスの成長機会が見込まれる分野も数多くあります。

こうしたなか、当社グループは、国内で「ワンピース」、「スイートプリキュア♪」、「トリコ」、海外で「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズ、「聖闘士星矢」を主とした、テレビ・映画・DVD・携帯端末・インターネット等への映像製作・販売事業や、キャラクターライセンス等の著作権事業、キャラクター商品の開発や販売等を行う商品販売事業、キャラクターショー等を行うイベント事業を展開いたしました。

この結果、第3四半期連結累計期間における売上高は261億8百万円（前年同四半期比29.6%増）、営業利益は41億29百万円（同21.3%増）、経常利益は44億56百万円（同22.7%増）、四半期純利益は26億55百万円（同22.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次の通りであります（セグメント間取引金額を含みます）。

## ①映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、3月に「映画プリキュアオールスターズDX3」「ジャンプHEROES film」、10月に「映画スイートプリキュア♪」等を公開しましたが、前期に計上しておりました「手塚治虫のブッダ」及び昨年8月に公開した「劇場版 怪談レストラン」の製作収入に相当するものがなかったことから、前年同四半期と比較して大幅な減収となりました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」や「スイートプリキュア♪」、「トリコ」、「デジモンクロスウォーズ」等を放映し、大幅な増収となりました。

パッケージソフト部門では、「ワンピース」のDVDシリーズ『Log Collection』に加え、「ジャンプHEROES film」や「映画プリキュアオールスターズDX3」のブルーレイ・DVD等が好調に稼動し、また受注映像の制作に関する売上が大きかったことから、大幅な増収となりました。

海外部門では、「ワンピース」のフランスを中心とした欧州向けテレビ放映権や、「ドラゴンボール」シリーズの欧州向けテレビ放映権及び北米向けビデオ化権等が堅調に稼動したものの、為替の影響もあり、大幅な減収となりました。

その他部門では、携帯事業で新たに開始したソーシャルゲーム『スラムダンク for モバゲー』やパソコン・テレビ・ゲーム機向けの映像配信サービスが好調に稼動したことから、大幅な増収となりました。

この結果、売上高は75億23百万円（前年同四半期比5.3%増）、セグメント利益は5億67百万円（同23.6%減）となりました。

## ②著作権事業

国内部門では、引き続き「ワンピース」の人气が継続し、フィギュア等の玩具や衣類、菓子類、生活雑貨等のキャラクター商品が幅広く好調に稼動し、「スイートプリキュア♪」も堅調に推移したこと等から、前年同四半期と比較して大幅な増収となりました。

海外部門では、アジアで「ワンピース」や「聖闘士星矢」の商品化権が、また欧州で「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権等が堅調に推移したものの、全体に厳しく、また為替の影響もあり、減収となりました。

この結果、売上高は87億97百万円（前年同四半期比30.0%増）、セグメント利益は38億1百万円（同23.4%増）となりました。

## ③商品販売事業

商品販売部門では、「ワンピース」に関連したキャンペーンやタイアップ商品等が引き続き好調に稼動し、また「スイートプリキュア♪」も堅調に推移したことから、前年同四半期と比較して大幅な増収となりました。

この結果、売上高は75億74百万円（前年同四半期比31.3%増）、セグメント利益は5億26百万円（同7

4.1%増)となりました。

④イベント事業

イベント部門では、「ワンピース」の催事イベントや「スイートプリキュア♪」のキャラクターショー等を展開し、特に「ワンピース」において、愛知県蒲郡のラグナシア、長崎のハウステンボス、東京ドーム等全国のドーム球場、横浜八景島等での大型催事が好調に稼働したことから、前年同四半期と比較して大幅な増収となりました。

この結果、売上高は22億33百万円(前年同四半期比351.9%増)、セグメント利益は1億62百万円(同20.8%増)となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年10月25日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,353,520	14,370,142
受取手形及び売掛金	4,640,812	4,660,277
商品及び製品	292,458	205,632
仕掛品	842,563	847,880
原材料及び貯蔵品	66,078	42,690
その他	811,277	741,531
貸倒引当金	△45,954	△40,550
流動資産合計	17,960,757	20,827,604
固定資産		
有形固定資産	3,687,000	3,640,671
無形固定資産	221,735	214,100
投資その他の資産		
投資有価証券	7,777,310	8,524,672
その他	7,691,373	6,073,716
貸倒引当金	△63,522	△62,187
投資その他の資産合計	15,405,162	14,536,201
固定資産合計	19,313,897	18,390,973
資産合計	37,274,655	39,218,578
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,443,213	4,087,169
未払法人税等	1,305,641	868,549
賞与引当金	217,481	102,509
その他	984,885	1,066,724
流動負債合計	5,951,221	6,124,952
固定負債		
退職給付引当金	546,273	578,408
役員退職慰労引当金	156,190	141,080
その他	169,964	122,379
固定負債合計	872,427	841,868
負債合計	6,823,649	6,966,821

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867,575	2,867,575
資本剰余金	3,409,575	3,409,575
利益剰余金	25,346,946	27,308,363
自己株式	△39,509	△39,509
株主資本合計	31,584,586	33,546,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△677,956	△745,685
為替換算調整勘定	△455,624	△548,561
その他の包括利益累計額合計	△1,133,581	△1,294,247
純資産合計	30,451,005	32,251,757
負債純資産合計	37,274,655	39,218,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	20,148,714	26,108,492
売上原価	13,874,451	18,905,792
売上総利益	6,274,262	7,202,699
販売費及び一般管理費	2,869,923	3,073,129
営業利益	3,404,339	4,129,569
営業外収益		
受取利息	53,153	54,950
受取配当金	99,061	117,157
持分法による投資利益	108,490	177,664
その他	52,891	41,348
営業外収益合計	313,597	391,120
営業外費用		
為替差損	83,336	62,312
その他	2,449	1,810
営業外費用合計	85,785	64,123
経常利益	3,632,151	4,456,567
特別損失		
投資有価証券評価損	9,690	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,205	—
特別損失合計	25,895	—
税金等調整前四半期純利益	3,606,255	4,456,567
法人税、住民税及び事業税	1,235,461	1,639,180
法人税等調整額	207,639	161,468
法人税等合計	1,443,101	1,800,648
少数株主損益調整前四半期純利益	2,163,153	2,655,918
四半期純利益	2,163,153	2,655,918



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,163,153	2,655,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△193,147	△71,179
為替換算調整勘定	△148,930	△92,936
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,083	3,449
持分法適用会社に関する持分変動差額	34,376	—
その他の包括利益合計	△313,785	△160,666
四半期包括利益	1,849,368	2,495,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,849,368	2,495,252
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。